

# ふるさと探訪

## 第60回 志河川ダム



丹原町志川で国道11号を折れ、松山自動車道の方向に進むと、ほどなく山の谷間に大きなダムが姿を現します。志河川しごがわダムです。

道前平野では古くから農業が盛んでしたが、降水量が少なくしばしば干ばつ被害を受けていました。そこで、昭和

42年、国によって現在の久万高原町に面河ダムが建設され、道前平野だけでなく道後平野にも、安定的な送水が可能となりました。しかし、その後40年が経過し、社会情勢や農業を取り巻く環境は大きく変容を遂げ、新たな用水確保が必要となったことから、志河川ダムが平成19年に完成されるに至ったのです。

このダムの建設に際しては、自然環境との調和に配慮したさまざまな取り組みが行われ、また、完成後にはダムの下流側に、人々が集うことのできる広場や遊歩道なども整備されました。



▲ダム湖(上)と高さ48mもある堤体



▲ダム下流側には水辺空間を整備

志河川ダムがもたらす水によって、県下屈指の生産力を誇る西条市の農業の、さらなる発展が大きく期待されています。

